

彦根藩関連年表

和 暦	西 暦	将 軍	藩 主	
天正 3	1575			井伊直政、徳川家康の家臣となる。旧領井伊谷を賜る。
10	1582			直政、旧武田家臣ら 117 名を召し抱え、家康より「赤備え」を命じられる。
12	1584			小牧・長久手の合戦 直政隊、家康の旗本として出陣する。
18	1590			* 豊臣秀吉、天下統一
慶長 5	1600			直政、上野国（群馬県）箕輪城主（12 万石）。のち高崎に城を移す。
6	1601		直政	関ヶ原の合戦 直政、東軍（徳川家康方）の先陣を切る。
7	1602			直政死去。嫡子直継が遺領を相続する。
8	1603	家康	直継	* 徳川家康、江戸幕府をひらく
12	1607			彦根山への新城築城が決定、翌年 7 月より工事開始。
19	1614			この年までに彦根城天守が完成。
元和元	1615	秀忠	直孝	大坂冬の陣 直孝、病身の兄直継にかわり出陣。
8	1622			直孝、彦根藩主となり、近江 15 万石を領する。直継は上野国安中藩 3 万石に移る。
寛永 9	1632	家光		大坂夏の陣 直孝、若江（大阪府八尾市）で木村重成隊と戦う。
10	1633			彦根城の築城工事を再開。
万治 2	1659	家綱	直澄	この頃までに表御殿造営・城郭の改造・城下町整備がととのう。
寛文 2	1662			秀忠の遺言により、直孝、将軍家光の後見を務める。
延宝 5	1677			これまで 3 度の加増で、近江・下野・武蔵に計 30 万石を領する。
6	1678			直孝死去。直澄が相続。
元禄元	1688		直興	京都・近江地方大地震、彦根城石垣大破損。
4	1691			直興、榎御殿の造営をはじめめる。2 年後に完成。
8	1695	綱吉		直興、連名願書を提出した家臣 76 人を改易する。
10	1697			直興、日光東照宮修復の惣奉行を命じられる。
14	1701		直通	藩士各家から由緒書を提出させ、「侍中由緒帳」を編さんする。
宝永 7	1710	家宣	直恒	大洞弁財天堂の建立開始、領内の全員約 25 万人より一文ずつ寄進を募る。
享保元	1716		直該	直興が隠居、直通が藩主となる。
5	1720	吉宗	直恒	直通・直恒が相次いで死去、隠居していた直興が再立、翌年直該と改名。
15	1730			直該、大老職就任。
寛保 2	1742		直性	直該隠居して直性が相続。直定が彦根新田藩（1 万石）を設ける。
宝暦 4	1754	家重	直禎	* 享保の改革
明和 4	1767	家治	直禎	彦根三湊と大津百艘が湖上水運をめぐる利権を争い、彦根三湊の利権が認められる。
天明 4	1784		直定	彦根藩で初めての藩札（米札）が発行される。
寛政 11	1799		直禎	米札の流通を徹底するため、幕府発行の金銀銭貨の通用を全面的に禁止。
文化 10	1813	家齊	直禎	直禎が相続するがまもなく死去、直定が再び藩主となる。
天保元	1830		直幸	彦根城佐和口多聞櫓から出火。櫓・厩・武器類が焼失。幕府拝借銀などにより再建。
13	1842		直中	直幸、大老職就任。
弘化 4	1847	家慶	直中	藩校稽古館を創設。
嘉永 3	1850		直亮	直中の隠居御殿として榎御殿を増改築する。
6	1853	家定	直亮	湖東焼の生産はじまる。
安政 5	1858		直弼	湖東焼、彦根藩に召し上げられ藩窯となる。
万延元	1860	家茂	直弼	直亮、幕府より相模湾（神奈川県）警備を命じられる。
文久 2	1862		直憲	直弼、藩主となる。
慶応 3	1867	慶喜	直弼	* ペリー浦賀来航
明治元	1868		直憲	直弼、大老職に就任。6 月、日米修好通商条約調印。
4	1871		直憲	* 安政の大獄
			直憲	3 月 3 日 桜田門外で直弼暗殺される 直憲、跡を継ぐ。
			直憲	桜田事件のため藩領 10 万石を減封され、20 万石となる。
			直憲	この間、彦根藩兵、大和・天誅組拳兵、禁門の変、第 2 次長州戦争などに出兵
			直憲	* 大政奉還
			直憲	戊辰戦争 彦根藩は官軍につく。
			直憲	廃藩置県 彦根藩廃止される。